

心理学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATB011	心理学方法論I	1	2.0	1	春AB	火1,2	浅野 憲一	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。研究者としての研究倫理、人を対象とする研究における研究倫理の重要性をふくめた講義を行う。	オンライン(オンデマンド型)
OATB012	心理学方法論II	1	2.0	1	秋AB	火1,2	浅野 憲一	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。この講義の一環として修士論文の中間発表会、最終口答試問の聴講も行う。	オンライン(オンデマンド型)
OATB021	心理学特別研究A	3	2.0	2	春ABC	随時	浅野 憲一	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。博士前期課程1年目春学期に実施する。5月に実施される修士論文構想発表の事前事後指導を中心に指導を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB022	心理学特別研究B	3	2.0	2	秋ABC	随時	浅野 憲一	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。博士前期課程1年目秋学期に実施する。修士論文の提出まで、ならびに最終口答試問のための指導を中心に行う。	対面(オンライン併用型)
OATB023	心理学特別研究S	3	2.0	2	通年	応談	浅野 憲一	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。留学、休学などの個人的事情により、心理学特別研究AないしBが履修できない学生について、博士前期課程2年目以後に心理学特別研究AないしBの代替科目として特に学位プログラム教育会議から許可を得た者を対象として実施する。	対面(オンライン併用型)
OATB031	心理学先端研究1	1	1.0	1・2	春季休業中	集中	外山 美樹, 千島 雄太, 前澤 知輝	心理学研究における最先端の研究者を迎え、そのテーマについて集中的に講義を受け、議論をし、自らの研究推進に資する知識・考え方を獲得する。主として心理学全体の方法論や研究の在り方に関する世界的動向について、先端的研究者による講義・議論を通じて学び、心理学研究をする上での基盤としていくことを目的とする。	西暦偶数年度開講。 対面
OATB032	心理学先端研究2	1	1.0	1・2				心理学研究における最先端の研究者を迎え、そのテーマについて集中的に講義を受け、議論をし、自らの研究推進に資する知識・考え方を獲得する。主として認知・知覚、社会・教育・発達、臨床の各領域での先端的研究者による講義を設置し、現在の研究展開の在り方に関する世界的動向を、講義・議論を通じて学び、心理学研究をする上での基盤としていくことを目的とする。	西暦奇数年度開講。 対面
OATB041	心理学キャリア形成	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		心理学の専門性を活かした職業について具体的に理解をし、主体的に考えることを目的とした高度専門職行事のためのキャリア育成科目である。国内外の企業・官公庁や非営利団体などの現場において、心理学関連職として最先端で活躍する講師を招き、その講義を聴き議論をすることにより、将来の進路決定に役立てると共に、心理学という研究領域とその社会との関連性についての考察を深める。	今年度開講せず 対面(オンライン併用型)
OATB042	心理学インターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談	浅野 憲一	心理学の専門性を活かした職業について、実体験的に学び、その体験から心理学の学修・研究のあるべき姿を考えるための実習である。国内外の企業・官公庁や非営利団体などの現場において、心理学関連職としての就労体験を通じて、自らの能力涵養・適性の客観評価を図る。同時に、将来の進路決定に役立つ体験としても位置づける。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
専門科目									
科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAS0104	心理統計学特講	1	2.0	1・2	秋AB	NT	藤田 和也, 山口 一大	本授業では、受講者が量的研究を行う際に、リサーチクエスションの設定、研究計画の立案、これに基づくデータの収集や分析、結論の導出といった手続きを適切に行えるようになることを目指し、教科書に沿って授業を行う。	オンライン(オンデマンド型) ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 NT科目とする。
OATB051	心理基礎科学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4	佐藤 有耕, 大山潤爾, 川上 直秋, 外山 美樹, 千島雄太, 松田 壮一郎, 山口 一大, 藤田 和也, 前澤 知輝	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程1年目春学期に実施するため、特に研究計画を立て、実施の準備を行っていくまでを中心に指導を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB052	心理基礎科学演習II	2	2.0	1	秋AB	水3,4	佐藤 有耕, 大山潤爾, 川上 直秋, 外山 美樹, 千島雄太, 松田 壮一郎, 山口 一大, 藤田 和也, 前澤 知輝	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程1年目秋学期に実施するため、特に自らの研究計画に基づきながら、研究導入とその際に必要な技能・知識の獲得方法を中心に指導を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB053	心理基礎科学演習III	2	2.0	2	春AB	水3,4	佐藤 有耕, 大山潤爾, 川上 直秋, 外山 美樹, 千島雄太, 松田 壮一郎, 山口 一大, 藤田 和也, 前澤 知輝	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程2年目春学期に実施するため、特に実際の研究を実施していきながら、その方法論や分析を自らモニターしていく方法とその際に必要とされる知識・技能の獲得の方法を中心に指導を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB054	心理基礎科学演習IV	2	2.0	2	秋AB	水3,4	佐藤 有耕, 大山潤爾, 川上 直秋, 外山 美樹, 千島雄太, 松田 壮一郎, 山口 一大, 藤田 和也, 前澤 知輝	心理学基礎科学の各領域について、専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導までに必要な情報収集、論文購読、批判的読解と展開などを行う。博士前期課程2年目秋学期に実施するため、特に研究計画に基づきながら、実施した研究成果をどのように整理をし、一つの論文としてまとめ上げていくかについて、具体的な指導を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB060	心理統計学基礎	1	2.0	1	春AB	金7,8	藤 桂	社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。	OATD321と同一。オンライン(同時双方向型)
OATB061	心理基礎科学英語1	2	1.0	1・2	春学期	随時	浅野 憲一	心理学の研究法ならびに最先端の研究成果について、Web教材、ビデオ教材等を用いて英語で学習し、広く心理学が関係する領域全体を対象として、国際レベルの知識を体系的に身につけていくことを目的とする。加えて、英語で国際的な視点、方法で情報発信していくための基礎技能を身につける。	英語で授業。オンライン(オンデマンド型)
OATB062	心理基礎科学英語2	2	1.0	1・2	秋学期	随時	浅野 憲一	心理学の研究法ならびに最先端の研究成果について、Web教材、ビデオ教材等を用いて英語で学習し、特に自分自身の研究興味に関連する領域について、国際レベルの知識を体系的に身につけていくことを目的とする。加えて、英語で国際的な視点、方法により情報発信していくための基礎技能を身につける。	英語で授業。オンライン(オンデマンド型)
OATB071	感覚知覚心理学特講	1	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中	綾部 早穂	情報処理論的アプローチに基づき、感覚、選択、記憶、解釈、反応に関する基本的情報処理過程を探る。前年度に発表された海外雑誌論文の中から数報を選び、様々な観点から最新のデータと解釈、知見を学び、討論を行うことにより人間の情報処理の働きを理解を深める。	8月1日(金)1・2限 8月9日(土)1~5限 8月14日(木)、15日(金)、16日(土)1~4限 オンライン(同時双方向型)
OATB072	心理学と認知支援工学特講	1	2.0	1・2	通年	集中	大山 潤爾	感覚知覚心理学や認知心理学の実験心理学的アプローチを応用して、産業界や社会の課題に対するソリューションを提供できる研究の考え方、進め方について解説する。講義に加えて、受講生参加型ディスカッションと体験実習を含む。具体的には、企業との実際の共同研究事例に基づいて、ニーズの抽出・心理学的知見との対応・共同研究のテーマと目標の設定・実験計画・実験結果の社会実装までをロールプレイ等を交えて学ぶ。	実施場所：産業技術総合研究所中央事業所6群6-11棟626室 〒305-8566 茨城県つくば市東1-1-1 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATB073	認知心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	月3.4	前澤 知輝	認知心理学に関連する最新の研究 (Attention, Perception, & Psychophysics等) を購読し、それに基づく発表と議論を行う。購読する文献については、受講生の関心に沿って決定し、プレゼンテーション資料を作成する。当該の文献内容のレビューをしながら、認知心理学における問題の捉え方や仮説の立て方を学び、具体的な実験計画や分析方法、得られた結果からの展開の仕方について理解を深める。	対面
OATB081	教育心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	金3.4	外山 美樹	教育心理学の分野の文献を購読し、教育心理学の方法論や最新の研究成果についての知識を深める。また、授業を通して、発表レジュメのまとめ方、プレゼンテーションの仕方といったような修士論文に結びつくようなスキルの獲得を目指す。具体的には、教育心理学のテーマに関する論文(英文を含む)や専門書を担当受講生が発表し、そのテーマについて受講者全員で討論する。各受講生が興味を持つ論文(英語、日本語)を2本ずつ程度発表する予定である。	対面
OATB082	行動デザイン特講	1	2.0	1・2	秋AB	火5.6	松田 壮一郎	本授業は、人間行動や社会的現象を題材として、観察可能な記述 → 構造の整理 → 介入案の設計 → 検証可能な形での提示を一貫して行う講義・演習である。 応用行動分析学、臨床心理学、デザイン研究、公共政策などの知見を参照しながら、行動が生じる状況や選択肢、環境条件を構造的に分析し、行動変容や制度設計につながる提案を行う。単なるアイデア提示や解釈にとどまらず、再現可能性・検証可能性を意識した記述と設計を重視する。	対面
OATB083	青年心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	火3.4	佐藤 有耕	青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年心理学に関する知見を深める。すなわち、青年とは誰か、青年期あるいは思春期とはどのような時期かについて心理学的に理解を深め、さらに青年の心理を理解するための多様な観点について身につけ、自分の研究に活用できるようにする。購読する文献は、学位論文などの重厚な研究の講義を基本とし、それ以外にも青年心理学の古典、体系的なテキスト、レビュー論文、最新の学会誌論文、隣接する学問領域の文献などを含める。少人数で実施し、発表や討論なども行う学生参加型の授業となる。	対面
OATB084	自己心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	木5.6	千島 雄太	自己、アイデンティティ、パーソナリティ、時間的展望等に関する文献を購読し、発表を通じてその概念や理論について理解を深める。購読する文献については、受講生の関心に沿って決定するが、できるだけ最新の文献を選択することで、近年の研究動向や分析方法について理解・習得する。発表後には他の受講者とのディスカッションを行う。	対面
OATB085	計量心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	金1.2	山口 一大	計量心理学・心理統計学に関わる英語論文・洋書等を購読し、計量心理学・心理統計学への理解を深め、自身の研究に活かせるようにする。受講生は、英語論文を選択し(洋書の場合には割り当てられた章について)、内容を適切に要約したレジュメを作成し、発表を行い、受講者全員で議論を行う。自分が発表する回以外であっても、発表される文献を熟読し、理解できた点のみならず、疑問点やわからなかった点を整理して講義に臨む。	オンライン(同時双方向型)
OATB091	社会心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	木3.4	川上 直秋	社会心理学に関する最近5年以内に掲載された英語論文を受講生が紹介し合い、この分野についての理解を深め、受講生の研究テーマへの適用可能性を探る。受講生は、自分の研究テーマと関連のある社会心理学論文を選び、過去の理論的背景も含めたレジュメを作成・発表する。それに基づき、ほかの受講生と議論を行い、社会心理学の方法論・理論の習得を目指す。	対面
OATB092	臨床社会心理学特講(心の健康教育に関する理論と実践)	1	2.0	1・2				心の健康教育に関する概念や理論への理解を深め、心身の健康の維持増進やストレスマネジメント、ウェルビーイングへと結びつく具体的な実践的アプローチを学習する。受講者は、関連テーマを発表し、他の受講者との間で討議する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATF201	神経科学基礎論A	1	2.0	1	春A	応談	岩田 卓, 山田 一夫, 武井 陽介, 本城 咲季子, 鶴田 文憲, 櫻井 勝康, 大石 陽, 齊藤 夕貴, 豊島 理公	指定の教科書に沿って、分子・細胞神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、分子・細胞神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面
OATF202	神経科学基礎論B	1	2.0	1	春A	応談	綾部 早穂, 山田 洋, 國松 淳, 小金澤 禎史, ラザルス ミハエル, 平野 有沙, 櫻井 武, 吉江路 路子	指定の教科書に沿って、システム神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、システム神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面
OATF203	神経科学基礎論C	1	2.0	1	春B	応談	佐々木 哲也, 阿部 高志, 高橋 阿貴, 武田 裕司, 仲田 真理子, 片平 健太郎, 森川 桃	指定の教科書に沿って、行動・認知神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了することに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、Midterm及びFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、行動・認知神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面
OATF204	神経科学基礎論D	1	2.0	1	春B	応談	太田 深秀, 新井 哲明, 山中 克夫, 根本 清貴, 岩木 直, 三益 亜美, 櫻井 勝康, バスカア ロット アキッレ	障害・臨床・支援の神経科学の領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。精神疾患や神経変性疾患といった臨床症状や発達障害などの障害および支援、高次脳機能について学び、障害・臨床・支援の神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面
OATB101	臨床心理学特講I	1	2.0	1	春AB	月1,2	松田 侑子	臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学の成り立ち、臨床心理学の領域、臨床心理学の方法論、心理臨床の職業倫理、心理臨床家の職業的発達等について、講義と内外の文献精読・討論を行う。以上に加え本講義では、臨床心理学及び心理臨床実務の中で、特に遊戯療法と箱庭療法の理論と実際について講義と内外の文献精読、演習、DVD視聴を通じて理解を深める。さらに、(公財)日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士の業務についても講義し、公認心理師との異同について説明する。	オンライン(対面併用型)
OATB102	臨床心理学特講II	1	2.0	1	春AB	火3,4	浅野 憲一	臨床心理学特講IIに引き続き、臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学及び心理臨床実務における主要な流派の理論と実際、特に、精神分析的療法、来談者中心療法、行動療法・認知行動療法、日本の心理療法について、講義と内外の文献精読・討論を通して理解を深める。公認心理師法、公認心理師の職責、公認心理師の活動5領域についても講義と討論を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB103	臨床心理面接特講I(心理支援に関する理論と実践)	2	2.0	1	秋AB	火3,4	生田 目 光	心理臨床における面接法の基本的な知識とスキルを習得することを目的とする。授業前半は、心理面接に関する基礎の概説。また、関連文献の発表及び討論を行う。後半は、ミニ・カウンセリングを行い、実際の面接方法について体験的な学習を行う。	対面(オンライン併用型)
OATB104	臨床心理面接特講II	2	2.0	1	春C	火・金 3,4		この授業では、心理臨床における面接法の基本的な知識とスキルを習得することを目的とする。そのため、授業では、ミニ・カウンセリングを行い、実際の面接方法に関する体験的な学習を行う。	対面 オンライン(同時双方向型)
OATB111	臨床心理基礎実習	3	2.0	1	春AB秋AB	木3,4	浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地, 生田 目 光, 糸井 千尋, 安婷婷, 慶野 遥香, 北原 祐理	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて実習を行う。教員のインテークに同席し、またインテークカンファレンスに出席してケースを臨床心理学的に見立てる力を養う。	対面
OATB112	臨床心理実習I(心理実践実習IIC)	3	2.0	2	春AB秋AB	木4	浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地, 生田 目 光, 糸井 千尋, 安婷婷, 慶野 遥香, 北原 祐理	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の習得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、ケースカンファレンス等を通して、相談者の問題や障害に関する理解を深め、心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATB113	臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	木3	菅原 大地, 浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 生田 目光, 糸井 千尋, 安 婷婷, 慶野 遥香, 北原 祐理	臨床心理実習Iに引き続き、心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の修得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、相談者の問題や障害に関する支援アプローチについてグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して学ぶ。心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	対面
OATB114	発達臨床心理実習I(心理実践実習IID)	3	2.0	2	春AB秋AB	木3	松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室ケースカンファレンスへの出席も含める。	対面
OATB115	発達臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	火5	松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室の専任・非常勤相談員によるグループ・スーパービジョンへの出席、発表、討論への参加も含める。	対面
OATB116	臨床心理査定実習I(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	2.0	1	春ABC	随時	松田 侑子, 菅原 大地, 糸井 千尋	臨床心理学の研究方法で、同時に様々な心理臨床の現場で不可欠の技術でもある心理学的査定理論と方法について学ぶ。演習Iでは、WAISや田中ビネー等の個別式知能検査を中心的に取り上げ、理論的に学習するとともに、グループによる実技指導を通じて検査の具体的手続き等、査定技術の習熟を目指す。また、発達検査、ASDやADHDのスクリーニング検査、CBCL等の子どもの問題行動の概括的な評定尺度についても理解を深める。	対面
OATB117	臨床心理査定実習II	2	2.0	2	夏季休業中	集中	生田 目光	臨床心理支援において必須とされる心理査定法(検査法)のうち、特にパーソナリティ検査についてその理論と実践方法を学ぶ。MMPI、P-Fスタディ、SGTやロールシャッハ・テストなど質問紙法、投影法について理論を学ぶと共に記述方法、結果のまとめ方、解釈、フィードバックの仕方を理解する。さらに、テストバッテリーを用いた事例検討を通して複合的アセスメントおよび支援への活用について習熟を目指す。	対面(オンライン併用型)
OATB121	児童臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開X)	1	2.0	1・2				児童虐待、不登校、選択性緘黙、いじめ、非行等、学齢期に好発する児童・青年の心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを担当を決めて輪読する。これを通して、家庭と学校における子どもの問題行動や精神疾患に対する取り組みについて、理論と介入方法についての知見の獲得を目的とする。	西暦奇数年度開講。2026年度開講せず。オンライン(同時双方向型)
OATB122	発達臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Y)	1	2.0	1・2				幼児期から青年期までの子どもの心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを取り上げ、担当を決めて輪読する。これを通して、発達精神病理学の基礎理論、発達臨床心理学の研究方法、発達障害、反抗挑戦性障害、うつ病性障害、不安障害等を中心に、病態、アセスメント、介入法などについての知見の獲得を目的とする。	西暦偶数年度開講。2026年度開講せず。対面(オンライン併用型)
OATB125	精神医学(保健医療分野に関する理論と支援の展開X)	1	1.0	1・2	秋C	集中	白鳥 裕貴	精神医学の枠組みについて理解を深めるとともに、精神医学の理論、アセスメント、治療について学ぶ。精神医学総論、アルコール・薬物依存、児童・思春期の精神疾患、気分障害、統合失調症、認知症、心因性精神障害、摂食障害、パーソナリティ症状精神科、医療連携、治療等について現役の精神科医が講義を行う。	履修は心理学学位プログラム(博士前期課程)の心理臨床学サブプログラムの正規生に限る。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATB126	神経心理学特講(保健医療分野に関する理論と支援の展開Y)	1	1.0	1・2				神経心理学に関する最新の文献を取り上げて討論し、臨床心理学に関連する生物学的・神経科学的知識ならびに研究方法について学び、理解を深める。受講する学生が興味・関心のある学術論文、または専門書籍の章を担当・紹介し、受講生全員で討論する。	西暦奇数年度開講。対面(オンライン併用型)
OATB127	心理療法特講	1	2.0	1・2	春季休業中	集中	松田 侑子, 水野雅之, 菅原 大地	プレイセラピーやペアレントトレーニングなど、子どもと保護者を対象とした心理的支援法と自律訓練法やCBT等、青年・成人を対象とした特定の心理療法について、理論と実際を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
OATB128	心理療法特講I	1	2.0	1・2				心理療法特講IIとは異なる心理療法に関する最新の理論や実践方法について学ぶ。	授業実施日については別途連絡する。西暦奇数年度開講。対面(オンライン併用型)
OATB129	心理療法特講II	1	2.0	1・2	春季休業中	集中	菅原 大地, 水野雅之, 生田目 光, 安 婷婷, 北原 祐理	心理療法特講Iとは異なる心理療法に関する最新の理論や実践方法について学ぶ。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
OATB131	産業臨床心理学特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開Y)	1	2.0	1・2					西暦奇数年度開講。OATD306と同一。オンライン(同時双方向型)
OATB132	学校心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Z)	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実際について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	OATAB02と同一。対面(オンライン併用型)
OATB133	老年心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	木7,8	市倉 加奈子	本講義では、ひとの生涯発達の中でも特に中高年期から老年期に焦点を当て、加齢や老いに伴う心身の変化およびそれが日常生活に及ぼす影響について解説する。さらに、死をめぐめる心理過程に関する理論を概観し、心理臨床支援に活かすための実践的理解を深めることを目的とする。全体を通して、課題や演習を活用して理解の深化を図る。	西暦偶数年度開講。OATD302と同一。オンライン(同時双方向型)
OATB134	キャリアカウンセリング特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開X)	1	2.0	1・2	秋AB	土4,5	尾野 裕美	キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。	OATD308と同一。対面
OATB135	非行・犯罪心理学特講(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	原田 隆之	非行・犯罪について、心理学的な観点から、社会的な不適応行動としてとらえ、その要因を生物学的、心理学的、社会的観点から多面的にとらえるとともに、非行・犯罪のアセスメント、治療方法について実践的に解説する。	西暦偶数年度開講。OATD311と同一。対面 オンライン(同時双方向型)
OATB136	反社会的行動の理解と心理的支援(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開Y)	1	1.0	1・2				非行・犯罪心理学の基礎理論と日本における司法・犯罪分野の心理的支援の実際について解説する	西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATB137	産業メンタルヘルス特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開Z)	1	1.0	1・2	秋C	集中	浅野 憲一, 松田 侑子	産業メンタルヘルスに関する心理的支援の実践について解説する	オンライン(オンデマンド型)
OATB141	臨床心理家族・地域援助特講(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	水野 雅之, 田附 あえか	家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法、および地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法を学び、演習等を通して心理臨床実践に活かす。	対面(オンライン併用型)
OATB142	心理実践実習IA	3	2.0	1	通年	随時	浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地, 生田 目光, 糸井 千尋, 慶野 遥香, 北原 祐理	年間を通じて行われる心理相談室及び子ども相談室の運営・管理業務実習、電話受付実習、インテーク実習(陪席)・各ケースの支援実習を通して、心理支援の基礎を学ぶ。随時グループ・スーパーにジョンや個別スーパービジョンを通して、臨床支援原則の理解、地域連携の実践について学ぶ。	対面(オンライン併用型)
OATB143	心理実践実習IB	3	2.0	1	通年	随時	菅原 大地, 浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 生田 目光, 糸井 千尋, 慶野 遥香, 北原 祐理	医療機関等外部実習先の心理面接や心理検査実習、その他の実習、そして実習後のスーパービジョンを通して、個別ケースの支援の実践を学ぶとともに、多職種との連携を実践的に学ぶ。その他相談機関の見学等実習を通して、心理援助職の役割や責務、支援原則など幅広い臨床実践について学ぶ。	対面(オンライン併用型)
OATB144	心理実践実習IIA	3	2.0	2	通年	随時	浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 菅原 大地, 生田 目光, 糸井 千尋, 慶野 遥香, 北原 祐理	年間を通じて行われる学内の心理相談室及び子ども相談室における個別ケースを担当する。心理相談室では主に青年・成人を対象とした面接実習を行い、子ども相談室では、子どもへの心理実践としては、プレイセラピー、行動療法、社会・情緒的教育の担当、行動観察、保護者面接陪席が、保護者には育児相談を行う。実習後に行われるグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して、心理支援の基礎・実践についての理解を深める。	対面(オンライン併用型)
OATB145	心理実践実習IIB	3	2.0	2	通年	随時	菅原 大地, 浅野 憲一, 松田 侑子, 水野 雅之, 生田 目光, 糸井 千尋, 慶野 遥香, 北原 祐理	医療相談機関等による実習を通して以下を学ぶ。1クライアント情報を基に見立て、導入面接、検査実施、報告書作成をスーパービジョンを受けながら行う。2受診陪席やケア実習などを通して、個別ケースの支援の実践を学ぶ。3多職種連携の実践を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
OATC261	障害福祉学特講I(福祉分野における理論と支援の展開X)	1	1.0	1・2	春AB	月6	森地 徹, 名川 勝	社会福祉学における諸事項について理解し、課題解決に資する専門的な知識・技能を修得するために、障害福祉学領域における諸事項について講義する。	教室は人間A201 対面(オンライン併用型) 主に日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可
OATC262	障害福祉学特講II(福祉分野における理論と支援の展開Y)	1	1.0	1・2	秋AB	月6	森地 徹, 名川 勝	障害福祉学における学問上・研究上の課題について理解し、課題解決に資する専門的な知識・技能を修得するために、障害福祉学領域における学問上・研究上の課題について講義する。	対面 主に日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 教室は人間系学系A棟A201。状況によってはオンライン(オンデマンド型)あるいはオンライン(同時双方向型)となる可能性もある。